

活動名称 (40字以内)	気候変動に対応するために個人でできる GX を考えてみよう～日本マイクロソフト株式会社～		
団体名等	日本マイクロソフト株式会社		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input checked="" type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		10 人
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
活動方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンラインを活用しつつ現地活動を行う <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う		
大学院学生	<input checked="" type="checkbox"/> 含む <input type="checkbox"/> 含まない		
参加資格等	特になし		
活動期間	2023年9月 2日間 (オンライン) +品川オフィス訪問(日程調整中)	主な活動予定場所	オンライン+日本マイクロソフト品川本社
目的	GXを自分事として考える機会、およびIT技術の応用例を考える機会を提供		
具体的な内容 (800字程度)	<p>2020年に日本政府が発表した「2050年カーボンニュートラル宣言」を達成するには、国の政策や産業界の様々な変革に加えて、一般国民すなわち消費者の意識改革が非常に重要です。事実、イギリス政府は「ネットゼロ戦略」の4つの原則の中で「消費者が選択する」とし、ネットゼロ戦略を担うのは消費者だと定義をしています。欧州の若者世代を中心に、サステナビリティに自ら貢献したいという意向が広がっている中で、Green Transformationを掲げる東京大学様にとっても、学生自身でGXを意識し推進することの重要性が増しています。マイクロソフトでは自らが気候変動対策のリーダーとして活動しているのみならず、テクノロジーを通じて多くの組織や個人のGX推進を支援しています。本体験活動では、座学とアイデアソンを通じて、気候変動に対応するために個人でできる「ITによるGX」を考案いただきます。</p> <p>1日目            ・GXとは / なぜGXか / ITのGXとITによるGXについて            ・ITによるGXの例について            ・アイデアの出し方、サービスの魅力について</p> <p>2日目            ・アイデアソン            ・プレゼンテーション・審査</p> <p>日本マイクロソフト株式会社 品川オフィス訪問</p>		
備考			
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載	
	交通費 円 宿泊費 円 計 円	費用は、自宅から品川オフィス往復の交通費 奨励金額 0 円	
ウェブサイト等	<a href="https://www.microsoft.com/ja-jp/mscorp">https://www.microsoft.com/ja-jp/mscorp</a>		